



生活環境学部・
生活環境科学系
6年一貫教育プログラム
資料

学務課生活環境学部係

6年一貫教育プログラムとは？

4年(学部)+2年(大学院博士前期課程)の6年間を切れ目なく柔軟に活用し、通常の課程では難しい長期的な研究や、留学・インターンシップなどにチャレンジすることができるコースです。

広い視野をもち主体的に行動できる力を鍛え、グローバル社会で活躍しようという意欲をもつ女性を育むことを目的として、平成29年度入学生（現4回生）から導入されました。



6年一貫教育プログラムは現4回生から新たに導入した制度です。学部の4年間と大学院の修士課程(本学では博士前期課程と呼んでいます)を一続きの教育課程と考える、ということで「6年一貫教育プログラム」と呼んでいます。通常大学院進学については学部の4回生の時に入試を受けていただいて決めてもらう形になりますが、6年一貫教育プログラムでは学部の3回生の前期終了時点で応募をしてもらいます。早い時期に大学院進学を決めてくれた方には研究の実施や学外実習の実施にあたって便宜を図る、という制度になっています。プログラムを選択する「便宜(メリット)」については次のシート以降で説明します。

6年一貫教育プログラムを履修するメリット

- ①学部4回生の間に、
大学院授業科目の一部を無料で先行履修
(10単位まで)
修得した単位は、大学院入学後に単位認定

→大学院修士1回生の時間にゆとりができるので、
海外留学やインターンシップなどの学外での活動の時間を捻出できる。

学部よりも高度な大学院の授業科目を受けることで、
大学院進学後の学修をより強くイメージできる。
学部卒業時の卒論作成にも有益。



大学院の博士前期課程における授業への参加の形で修得が必要な単位数は専攻によっても異なりますが、20単位程度です。

学部時代と同じように教養科目群と専門科目群から構成されていますが、学部と比べて随分と少なくなっています。

大学院生になると、先生から教えてもらい、単位を修得することよりも、自分で解決策を見つけて取り組む、ということが重要視されますので

そのことを反映してのものです。必修とか、選択必修とかの科目区分もあまりなくなります。

決められた大きな枠の中から自由に単位を取ってくださいという形になります。

6年一貫教育プログラムを活用すれば、大学院に入学する前に大学院修了のために修得しなければならない単位の半分程度を修得できる、ということです。

通常留学をしたいと考える場合は学部時代に休学して参加する、という方が多いですが、

6年一貫教育プログラムを活用すれば、休学せずに修士1年の時期などを利用して留学をすることができます。

また、企業や自治体におけるインターンシップについても通常夏休み中に短期間参加というケースが多いですが、

6年一貫教育プログラムを活用すれば、3か月、6か月といったまとまった期間での参加が可能になります。

6年一貫教育プログラムを履修するメリット

②大学院への入学試験は書類選考

→6年一貫教育プログラム生対象限定の入試で、
原則として筆記による試験は実施しません。

※生活工学共同専攻のみ、口述試験あり。



通常の4回生の時に受験する大学院の試験については、専門科目、英語、面接という形で試験が実施されますが、
6年一貫教育プログラムの学生についてはプログラム選抜の時点で学力と熱意を確認しているため、
筆記試験は免除、という取扱いにしています。
面接などもしない予定で、書類審査(意志確認だけ)で大学院入学を認めます。
ただし、生活工学共同専攻については、口述試験を設けています。

6年一貫教育プログラムを履修するメリット

③大学院入学後に奨学制度がある (但し、成績優秀者のみ)

- 成績優秀者については、
大学院入学後に検定料、入学料が奨学金として返還されます。
(ただし、一旦支払いをする必要があります)

『「生活環境学部・生活環境科学系6年一貫教育プログラム」について』という書類の(7)プログラム特別奨学制度(概要)という箇所に記載していますが、プログラム生として選抜された時点の各専攻のGPA上位の者に、大学院人間文化総合科学研究科入学後に、出願にかかる検定料及び入学料相当額を奨学金として支給します。

プログラム生として選抜された時点というのは3回生の前期終了時点です。

ただ、1枚前のシートに記載している入試を受験する際に一旦検定料を支払い、大学院入学時に入学料を支払っていただいたうえで
後で検定料と入学料の相当額が返還される、という取扱いになります。

6年一貫教育プログラムを履修するメリット

④ 現在、学生寄宿舍に入居しており、
6年一貫教育プログラムを選択する学生は、
大学院入学後も引き続き学生寄宿舍に
入居することが可能

→通常学生寄宿舍に入居できるのは、
学部生、外国人留学生のみ



学部生の時点で学生寮に住まわれている方については、
大学院に入学する際も引越しなどの心配をする必要がなく、勉学に集中できます。
引越しに伴うお金の負担を心配する必要もありません。

ただ、「引き続き」入居できる、ということですので、
大学院から新たに学生寮に入る、ということを認める訳ではありません。
現在、学生寮に入っている方については住居に対する配慮もします、という内容になって
います。

大学院に進学するメリット

①研究開発職を含め就職の幅が広がる

→学部卒業後にすぐに就職した方よりも
博士前期課程に進学し、研究を続けた方が
「科学的に考える力や文章を書く力、
自分の考えを発表する力」を養っており、
その点を企業等はきちんと評価してくれて
います。



(参考)

中公新書ラクレ「大学の話をしましょうか

—最高学府のデバイスとポテンシャル—

(森 博嗣著：元名古屋大学准教授)

『学ぶ理由』

- ・仕事と手法が与えられたとき、それを的確に解決できるのが学士
 - ・仕事を与えられたとき、手法を自分で模索し、方向を見定めながら問題を解決できるのが修士
 - ・そもそもそのような問題（注：論文として解決すべき課題）を与えることができるのが博士
- 取得した学位と卒業後の職業とは概ね連動しているものと言えます。



大学院に進学するメリット

②資格取得-1

- ・ 教員への就職の際には
「専修免許状」を保有している方が有利
- ・ 公認心理師・臨床心理士については
博士前期課程修了が必要
- ・ 在学しながら、一級・二級建築士を受験



教員の募集の際、基本的には学部卒業時に取得できる第1種免許状というもので応募可能ですが、募集要項のなかに「専修免許状を保有していることが望ましい」という記載をしている場合が多いので大学院に進学して専修免許状を取得しておくことには意義があるといえます。

また、臨床心理学コースの方が取得したいと考えるであろう公認心理師、臨床心理士の資格取得のためには博士前期課程まで進学することが必須となっています。

また、住環境学科の方については、学部卒業時に得られる一級・二級建築士の受験資格を活かして在学しながら受験し、資格を取得したうえで就職する道も考えることができます。

大学院に進学するメリット

②資格取得-2

- ・食物栄養学科を卒業し、管理栄養士の資格を得た方の健康運動指導士資格取得
(詳細は健康・体力づくり事業財団HPを参照のこと)
 - ・心身健康学科の方であれば、健康運動指導士、
 - ・衣環境学コースであれば、繊維製品品質管理士 (TES)、色彩検定
 - ・生活情報通信科学コースであれば、基本情報処理技術者試験への挑戦
- ✿教職や学芸員資格の取得を希望している方には進路を(ほぼ)確定させたいうえで落ち着いて実習に参加できるという点も魅力だと言えます。

また、食物栄養学科を卒業し、健康運動指導士の資格取得を希望される場合は、所管財団の講習会を通常よりも少ない科目を履修するだけで取得可能という制度になっています。病院などで活躍したい、と考えている方にとっては栄養と運動、という患者に提供することが推奨される2つの分野のプロフェッショナルになれる、という点は魅力だと思います。この情報は大学で提供しているものではありませんので、財団のHPもチェックしてください。

もちろん、心身健康学科の方が健康運動指導士の資格取得のための時間確保のために6年一貫教育プログラムを活用することもできますし、衣環境の方については繊維製品品質管理士(TES)や色彩検定、生活情報の方は基本情報処理技術者試験の取得のための時間とすることも可能です。

大学院に進学するメリット

- ③自分の好きなことや興味のあることに対して
主体的に取り組む時間が確保できる

研究はもちろんのこと、サークル、課外活動、趣味などに
取り組む時間を確保できる。

→人出不足で何の仕事に就いても忙しい。
趣味や遊びは就職して落ち着いたら... は難しくなってきました



「遊ぶ」ことを推奨しているわけではありませんが、
学生、という身分は社会人よりも自由度が高いと言えます。
企業における副業解禁、雇用年齢の引き上げ、内定率が非常に高い、などのニュース
は
少子化・高齢化といった労働力人口の減少、が大きな理由であると考えられます。
少なくとも少子化・高齢化は解決不可能ですので、就職しやすい、という状況は変わら
ないものと予想されます。

自らの意思を持って大学院に進学し、専門的な知識を深めながら自分の研究と向き合
う大学院の生活は、就職して得られることのできない貴重なものです。
それが就職後に即戦力として、自分にとって役に立つときが来るはずで

(あくまで参考)

- ・アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、韓国等と比較した場合、日本のみ人口100万人当たりの修士号・博士号取得者数が減少している。
(出典：科学技術・学術政策研究所「科学技術指標2018」)

→学士号（学部卒）以上の学歴を修めることがグローバルスタンダードとなりつつある？



大学院におけるセーフティネット

- ・ 入学料・授業料免除（基本的に学部と同じか、+α）
- ・ 奨学金...日本学生支援機構
 佐保会奨学金,広部奨学金,育児奨学金
 その他地方公共団体,財団法人等の奨学金
 （基本的に学部と同じか、+α）
- ・ TA制度
- ・ 保健管理センター
- ・ 生協
- ・ 学生相談室
- ・ ハラスメント相談室

6年一貫教育プログラムの募集単位

大学院人間文化研究科博士前期課程

- ・食物栄養学専攻
- ・心身健康学専攻生活健康学コース
- ・心身健康学専攻スポーツ科学コース
- ・心身健康学専攻臨床心理学コース
- ・情報衣環境学専攻衣環境学コース
- ・情報衣環境学専攻生活情報通信科学コース
- ・住環境学専攻
- ・生活文化学専攻
- ・生活工学共同専攻（お茶の水女子大との共同教育課程）

6年一貫教育プログラムへの応募

- ・3年次前期終了時点で70単位以上を修得していること。
(教養教育科目については、各学科・コースで定める卒業要件単位数を修得していることを必要とする。
※高年次教養科目については、卒業するまでに取得すればよい。)

- ・また、2回生後期終了時点で、学科・コース内GPA上位2分の1以内であること。

※3年次編入学生、転学部・転学科学生は、このプログラムには応募できません。

- ・募集時期は、8月中を予定しています。
また後日掲示しますので、確認してください。

6年一貫教育プログラムの採否判定

- ・「応募資格」適合者で
プログラムの履修を希望した方に対し、
「面接」を実施
(臨床心理学コースは併せて筆記試験を実施)
 - ・「面接」では専攻(学科・コース)の教員が
申請理由等を確認します。
「特別学外研究」履修を希望する場合には
実施計画についても説明してもらいます。
- 生活環境学部ホームページ→お知らせ で
過去の募集要項を公表しています。興味を持った方は
そちらもチェックしてみてください。